平成 25 年度

事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

学校法人稲置学園

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

「誠実にして社会に役立つ人間の育成」

(2) 学校法人の沿革

- 1932年(昭和7年)
 - 10月 北陸明正珠算簿記専修学校の創設(金沢市彦三2番丁1番地2)
 - 12月 北陸明正珠算簿記専修学校、私立学校令によって学校として認可、稲置繁男が学校長に就任
- 1933年(昭和8年)
 - 3月 北陸明正珠算簿記専修学校を明正高等簿記学校に改称同時に校章を制定
- 1934年(昭和9年)
 - 7月 明正高等簿記学校を移転、新築校舎竣工(金沢市塩屋町8番地)
- 1938年(昭和13年)
 - 10月 明正高等簿記学校、校舎増築
- 1943年(昭和18年)
 - 11月 明正高等簿記学校を移転、新築校舎竣工(金沢市馬場4番丁42番地)
- 1944年(昭和19年)
 - 3月 明正高等簿記学校を金沢商業女学校に改称
 - 9月 金沢商業女学校、修業年限二年制認可
- 1948年(昭和23年)
 - 2月 金沢商業女学校を金沢女子商業学校に改称
 - 10月 金沢女子商業学校を実践高等商業学校に改称
 - 10月 財団法人実践高等商業学校を設立(1948年10月1日認可)、理事長に稲置繁男が就任
- 1950年(昭和25年)
 - 3月 実践高等商業学校、校舎増築
 - 10月 実践高等商業学校を実践商業高等学校に改称(男女共学)
 - 10月 財団法人実践高等商業学校を学校法人実践商業高等学校に組織変更 (1950年10月27日認可)、稲置繁男が理事長・学校長に就任
- 1951年(昭和26年)
 - 12月 実践商業高等学校、通常過程(全日制)、定時制課程(第二本科)併置認可
- 1952年(昭和27年)
 - 1月 実践商業高等学校、講堂および実習室等の増築
- 1953年(昭和28年)
 - 8月 実践商業高等学校、運動場を拡張工事竣工
- 1956年(昭和31年)
 - 10月 実践商業高等学校、校舎増築
- 1958年(昭和33年)
 - 6月 実践商業高等学校、普通科を設置
 - 8月 実践商業高等学校、体育館・普通校舎等竣工
- 1959年(昭和34年)
 - 3月 実践商業高等学校、鉄筋3階建校舎(普通教室)を増築
- 1960年 (昭和35年)

- 2月 実践商業高等学校、特別教棟竣工
- 3月 実践商業高等学校、本年度をもって別科課程の廃止
- 4月 実践商業高等学校、本年度をもって定時制課程の募集中止
- 12月 実践同窓会の発足
- 1961年(昭和36年)
 - 10月 学校法人稲置学園の発足、学校法人実践商業高等学校を学校法人稲置学園へ組織変更 (1961年10月10日認可)
- 1962年(昭和37年)
 - 4月 実践第二高等学校の開校(1961年12月1日認可)初代校長に松田覚神が就任
 - 10月 稲置学園、創立30周年記念式典挙行
- 1963年(昭和38年)
 - 3月 実践第二高等学校、東半棟竣工
 - 6月 実践第二高等学校を学校法人稲置学園から分離し、学校法人稲置財団を設立 (1963年6月10日認可)
 - 9月 実践第二高等学校を星稜高等学校に改称(1963年8月20日認可)
- 1964年(昭和39年)
 - 6月 星稜高等学校、水泳プール竣工
- 1965年(昭和40年)
 - 4月 学校法人稲置財団を学校法人稲置星稜学園に改称(1965年4月1日認可)
 - 4月 星稜幼稚園の開園(金沢市御所町)(1965年4月1日認可)初代園長に松田覚神が就任
 - 11月 金沢経済大学設立準備委員会、および事務局を設置
- 1966 年年 (昭和 41 年)
 - 3月 金沢経済大学、学舎1号館竣工
- 1967年(昭和42年)
 - 4月 金沢経済大学の開学(金沢市御所町丑10番地1)(1967年1月23日認可)初代学長に 吉岡金市が就任
 - 4月 星稜高等学校を金沢経済大学附属星稜高等学校に改称(1967年1月23日認可)
 - 4月 星稜幼稚園を金沢経済大学附属星稜幼稚園に改称(1967年1月23日認可認可)
 - 10月 稲置学園創立35周年記念式典挙行
- 1968年(昭和43年)
 - 2月 金沢経済大学、教員免許状授与資格取得のための教職課程(中学校社会、高等学校社会・ 商業)の設置認可
 - 3月 金沢経済大学、学舎2・3号館竣工
 - 12月 星稜高等学校、武道館竣工
- 1969年(昭和44年)
 - 3月 星稜幼稚園、収容定員増認可
 - 4月 稲置講堂(兼体育館)竣工
 - 7月 金沢経済大学、飛騨ヒュッテ開設(岐阜県大野郡向川村平瀬)
 - 9月 星稜高等学校第3棟特別教室竣工
- 1970年(昭和45年)
 - 3月 学校法人稲置学園解散、実践商業高等学校を廃止し、石川県立金沢向陽高等学校に移管
 - 5月 星稜高等学校、第2体育館竣工

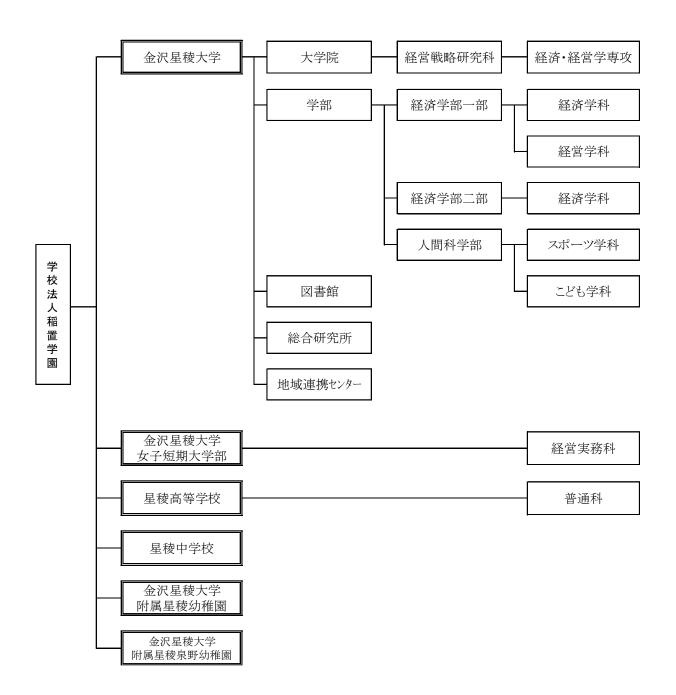
- 1971年(昭和46年)
 - 1月 金沢経済大学、武道館竣工
 - 3月 金沢経済大学、情報処理センター竣工
 - 4月 金沢経済大学、経済学部二部経済学科(夜間)を設置(1971年1月27日認可)
 - 4月 学校法人稲置星稜学園を学校法人稲置学園に法人名改称(1971年4月3日認可)
 - 4月 金沢経済大学附属星稜幼稚園を金沢経済大学星稜幼稚園に改称(1967年1月23日認可)
 - 11月 金沢経済大学附属星稜高等学校を金沢経済大学星稜高等学校に改称 (1971年11月17日認可)
- 1972年(昭和47年)
 - 4月 金沢経済大学星稜中学校の開学(金沢市小坂町南206番地)(1971年11月17日認可)
 - 4月 星稜高等学校、情報処理科を設置(入学定員50名、総定員増なし)
 - 10月 稲置学園 4 0 周年記念式典挙行、『稲置学園 4 0 年史』を発刊 星稜高等学校 1 号館竣工
- 1973年(昭和48年)
 - 4月 金沢経済大学経済学部一部商学科を設置(1973年1月26日認可)
- 1974年(昭和49年)
 - 3月 星稜高等学校・星稜中学校、第3号館竣工
 - 6月 稲置学園会館竣工
- 1976年(昭和51年)
 - 3月 星稜高等学校、第3体育館竣工
 - 3月 金沢経済大学、大講義棟竣工
 - 4月 星稜幼稚園、4・5歳児の他に3歳児を新規募集
- 1977年(昭和52年)
 - 3月 星稜高等学校、第4体育館竣工
 - 7月 星稜女子短期大学設立申請
- 1978年(昭和53年)
 - 4月 星稜幼稚園、視聴覚教室 (TV 調整室、スタジオ) を新設、園舎増設
- 1979年(昭和54年)
 - 4月 星稜女子短期大学、学舎竣工
 - 4月 星稜女子短期大学経営実務科の開学(金沢市御所町酉1番地)(1979年2月13日認可)
- 1980年(昭和55年)
 - 4月 星稜高等学校、商業科と情報処理科の廃止(募集停止)
 - 10月 星稜高等学校、剣道場竣工
- 1982年(昭和57年)
 - 3月 稲置学園創立50周年記念碑建立
 - 7月 星稜高等学校、収容定員増の認可
 - 10月 稲置学園創立50周年記念式典挙行、『稲置学園の50年』発刊
- 1983年(昭和58年)
 - 2月 星稜高等学校・星稜中学校の稲置敏夫校長死去、学園葬を稲置講堂で執行
 - 4月 星稜泉野幼稚園の開園(金沢市泉野6丁目17番30号)(1982年10月28日認可)
 - 4月 金沢経済大学星稜高等学校を星稜高等学校に改称(1983年1月7日認可)
 - 4月 金沢経済大学星稜中学校を星稜中学校に改称(1983年1月7日認可)

- 4月 金沢経済大学星稜幼稚園を星稜幼稚園に改称
- 4月 星稜高等学校、特別教棟竣工
- 5月 星稜泉野幼稚園、園舎石川県建築賞受賞
- 6月 稲置学園資料室、および星稜高等学校更衣室棟竣工
- 11月 星稜高等学校、新野球場竣工
- 1984年(昭和59年)
 - 4月 金沢経済大学、学舎第4号館竣工
 - 12月 星稜女子短期大学、収容定員増認可
- 1985年(昭和60年)
 - 3月 星稜幼稚園、金腐川河川改修により移転
 - 6月 星稜高等学校、収容定員増認可
 - 6月 星稜泉野幼稚園、収容定員増認可
 - 12月 星稜幼稚園、収容定員増認可
 - 12月 星稜幼稚園、新園舎竣工
 - 12月 金沢経済大学経済学部一部商学科の収容定員増認可(1985年12月25日認可)
- 1986年(昭和61年)
 - 3月 星稜幼稚園、床可動式・室内温水プール完成
 - 3月 星稜女子短期大学、学舎第3号館竣工
 - 5月 星稜幼稚園、園舎石川県建築賞受賞
 - 12月 星稜幼稚園、園舎中部建築賞受賞
- 1987年(昭和62年)
 - 4月 学校法人稲置学園、姉妹校の七尾短期大学の開学式挙行
 - 10月 創立55周年の記念式典挙行
- 1988年(昭和63年)
 - 2月 金沢経済大学、学舎第5号館竣工
 - 4月 姉妹校七尾短期大学経営情報学科の開学
 - 10月 星稜高等学校、ブラスバンド練習室竣工
- 1989年(平成元年)
 - 10月 稲置記念館竣工
 - 10月 金沢経済大学、トレーニングセンター竣工
- 1990年(平成2年)
 - 3月 金沢経済大学、教員免許法の改正による免許状授与資格課程の認可
 - 12月 金沢経済大学、商学科の臨時定員増認可
- 1991年(平成3年)
 - 2月 星稜高等学校、トレーニングセンター竣工
- 1992年(平成4年)
 - 10月 稲置学園創立60周年記念式典、『稲置学園の60年』の発刊
 - 10月 稲置学園総合運動場竣工
- 1993年(平成5年)
 - 6月 学園創立者稲置繁男先生逝去6月17日に学園葬を執行
 - 6月 学校法人稲置学園第2代理事長に稲置美弥子が就任
- 1996年 (平成8年)

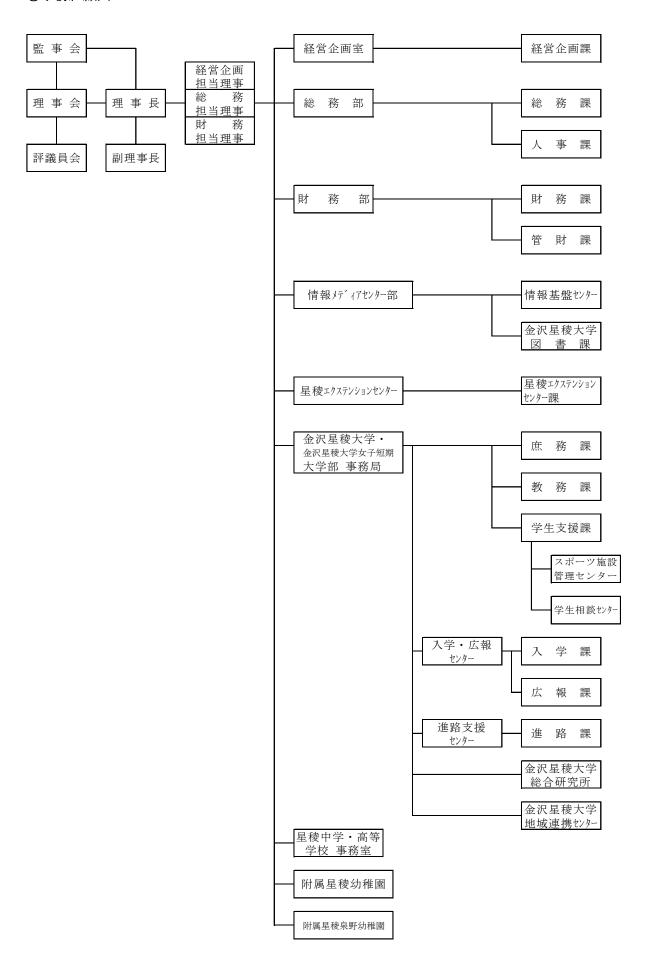
- 10月 金沢経済大学、本館(8階建て)竣工
- 1997年 (平成9年)
 - 12月 金沢経済大学、体育館・学生会館・厚生会館・食堂棟竣工
- 2000年 (平成12年)
 - 4月 金沢経済大学経済学部一部にビジネスコミュニケーション学科を設置 (1999 年 10 月 22 日認可)
- 2001年(平成13年)
 - 4月 金沢経済大学内にエクステンションセンターを設置
 - 8月 星稜中学校・星稜高等学校、校舎(7階建て)・体育館竣工
- 2002年(平成14年)
 - 4月 金沢経済大学を金沢星稜大学に改称
 - 4月 金沢星稜大学に大学院地域経済システム研究科(修士課程)を設置 (2001年12月20日認可)
 - 10月 稲置学園創立70周年記念式典を挙行、『稲置学園創立70周年記念近10年のあゆみ』 発刊
 - 10月 星稜中学校・星稜高等学校、雨天練習場・多目的グラウンド竣工
- 2004年(平成16年)
- 4月 金沢星稜大学経済学部一部に現代マネジメント学科を設置(2003年9月26日届出受理)
- 2005年(平成17年)
 - 4月 大学内で運営されていた「エクステンションセンター」を「星稜エクステンションセンター」(学園組織) へ組織変更
- 2007年 (平成19年)
- 4月 金沢星稜大学に人間科学部 (スポーツ学科・こども学科) を設置 (2006年11月30日認可) 2008年 (平成20年)
 - 4月 金沢星稜大学大学院・地域経済システム研究科(修士課程)を経営戦略研究科(修士課程) に改称
- 2010年 (平成22年)
 - 4月 金沢星稜大学、経済学部二部経済学科を募集停止
 - 4月 金沢星稜大学経済学部、現代マネジメント学科を経営学科に改称
- 2011年(平成23年)
 - 4月 星稜幼稚園を金沢星稜大学附属星稜幼稚園に改称
 - 4月 星稜泉野幼稚園を金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園に改称
- 2012年(平成24年)
 - 4月 星稜女子短期大学を金沢星稜大学女子短期大学部に改称
 - 7月 金沢星稜大学、キャリアデザイン館・メデイアライブラリー竣工
 - 9月 金沢星稜大学女子短期大学部を移転(金沢市御所町丑10番地1)
 - 10月 稲置学園80周年記念式典挙行、『稲置学園80年史』発刊

(3) 組織図

①教育研究機構図



②事務組織図



(4) 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年度		学部・学科等
		大学院	(平成 14 年 4 月) 経営戦略研究科
		経済学部一部	(昭和 42 年 4 月)経済学科
		作	(平成 16 年 4 月)経営学科
金沢星稜大学	昭和 42 年 4 月	経済学部二部 (平成 22 年 募集停止)	(昭和 46 年 4 月)経済学科
			(平成 19 年 4 月) スポーツ学科
		人間科学部	(平成 19 年 4 月)こども学科
金沢星稜大学女子 短期大学部	昭和 54 年 4 月	経営実務科	
星稜高等学校	昭和37年4月	全日制普通科	
星稜中学校	昭和47年4月		
金沢星稜大学附属 星稜幼稚園	昭和 40 年 4 月		
金沢星稜大学附属 星稜泉野幼稚園	昭和 58 年 4 月		

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

学校 大 学部・ 学 学科名等 院						大学				短大	高校	中学	大 学	大学
1			経済	斉学部-	一部	経済学 部二部	人間和	斗学部		部経	普通	校	附 属 星	附 属 ^星
年月・学年等		経営戦略研究科	経済学科	経営学科	ト学科 スジメン	経済学科	スポーツ学科	こども学科	抽	経営実務科	科		星稜幼稚園	属星稜泉野幼稚園
収容 定員	4,920	20	820	600	0	0	240	160	1,820	300	2,040	240	300	200
	満3歳児												1	1
	1年(年少)	8	298	185			74	59	616	130	519	58	50	56
H25.5.1	2年(年中)	11	252	176			65	59	552	110	611	62	55	37
	3年(年長)		222	193			67	47	529		607	56	78	47
	4年		218	168	18	7	73	49	533					
5月	4,727	19	990	722	18	7	279	214	2,230	240	1,737	176	184	141

(平成25年5月1日現在)

(6) 役員の概要

(平成 25 年 4 月 1 日現在) 定員数 理事 7~10 名、監事 2~3 名

		ı	人员数 在事 10 41、血事 2 0 41
区分	氏名	常勤・非常 勤の別	摘要
理事長	稲置 美弥子	常勤	昭和 58 年 2 月理事就任 平成 5 年 6 月理事長就任
理 事	稲置 慎也	常勤	平成 11 年 4 月理事就任 平成 25 年 4 月副理事長就任
理 事	坂野 光俊	常勤	平成 20 年 4 月理事就任 (金沢星稜大学長・金沢星稜大学女子短期大学部学長)
理 事	干場 久男	常勤	平成 21 年 4 月理事就任(星稜中学・高等学校長)
理 事	山下 智茂	常勤	平成 14 年 4 月理事就任(金沢星稜大学特任教授)
理事	向峠 日出雄	常勤	平成 24 年 4 月理事就任
理事	四柳 茂男	常勤	平成 24 年 6 月理事就任
理事	谷村 昭雄	非常勤	平成 12 年 6 月理事就任(小坂公民館長)
監事	入江 尊義	常勤	平成 19 年 4 月監事就任
監事	松川 治彦	非常勤	平成 13 年 4 月監事就任 (株式会社ニュー三久代表取締役会長)
監事	梶 冨次郎	非常勤	平成 16 年 6 月監事就任 (カジナイロン株式会社代表取締役会長)

前会計年度の決算承認にかかる理事会開催日後の退任役員 該当者なし

(7) 評議員の概要

(平成 25 年 4 月 1 日現在) 定員数 15~21 名

IT. A	+KF =	足貝数 15°21′石
氏名	在任年月	摘要
荒川 徳人	8年10か月	星稜中学・高等学校事務長
稲置 誠也	9年	金沢星稜大学・女子短期大学部事務局長兼星稜エクステンション センター長
高光 哲也	2 年	星稜高等学校副校長
田中 洋之	18年	学校法人稲置学園執行役員 学校法人稲置学園総務部長
長久保 実	3 年	金沢星稜大学・女子短期大学部事務局入学・広報センター長
西田 徹	10年	学校法人稲置学園財務部長
宮崎 正史	6年10か月	金沢星稜大学副学長 金沢星稜大学経済学部教授
四柳 茂男	4年	学校法人稲置学園理事
中田 邦雄	37 年 9 か月	金沢経済大学(現 金沢星稜大学)1期卒業生 石川県職員
野村 ルリ子	26 年	星稜女子短期大学(現 金沢星稜大学女子短期大学部)1 期卒業生 株式会社野村経営センター
三好 研一	14 年	金沢経済大学(現 金沢星稜大学)1期、実践商業高等学校卒業生株式会社三好塗工社長
山下 哲男	13 年	星稜高等学校 1 期卒業生 山下工業株式会社代表取締役
稲置 慎也	26 年	学校法人稲置学園副理事長
稲置 美弥子	30年1か月	学校法人稲置学園理事長
大友 佐俊	2 年	株式会社大友楼代表取締役
下池 新悟	13年	有限会社高浜牧場代表取締役
水越 信幸	1年	学校法人稲置学園経営企画室長
向峠 日出雄	1年	学校法人稲置学園理事
山腰 茂樹	2年	財団法人石川県音楽文化振興事業団専務理事、音楽堂館長
若松 道行	6年	若松梱包運輸倉庫株式会社専務取締役 株式会社ジャスト物流代表取締役

(8) 職員の概要

平均年齢は、役員 66.9 歳、教員 45.8 歳、職員 44.5 歳 (非常勤講師、短時間職員、委託・派遣職員を除く。)

(9)その他

系列校の状況

金沢星稜大学海外大学等間交流締結状況

【海外】

NO	形態	大学名	国名		協定内容
			中国		学術交流協定(合意書)
1	国立	吉林大学	長春市	0	教育学術研究の教員の相互派遣
		— ,		0	学生の相互派遣
					学生の短期語学研修実施
		JILIN		0	国際会議、セミナー共同企画
		UNIVERSITY		0	出版物、学術情報の相互交換
			中国		姉妹校協定
2	公立	東北財経大学	大連市	0	教育学術研究の教員の相互派遣
				0	学生の相互派遣
		DONGBEI			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
		UNIVERSITY			学生の短期語学研修実施
		OF FINANCE AND		0	国際会議、セミナー共同企画
		ECONOMICS		0	出版物、学術情報の相互交換
			中国		姉妹校協定
3	公立	蘇州大学	蘇州市	0	教育学術研究の教員の相互派遣
				0	学生の相互派遣
		CUZUOU		0	学生の短期語学研修実施
		SUZHOU UNIVERSITY		0	国際会議、セミナー共同企画
		ONIVERSITI		0	出版物、学術情報の相互交換
			韓国		姉妹校協定
4	私立	東亜大学校	釜山市	0	教育学術研究の教員の相互派遣
				\circ	学生の相互派遣
		DONG-A		0	学生の短期語学研修実施
		UNIVERSITY		\circ	国際会議、セミナー共同企画
		CIVIVEROTTI		0	出版物、学術情報の相互交換
			ロシア		姉妹校協定
5	国立	イルクーツク国	イルクーツク市	0	教育学術研究の教員の相互派遣
		立大学		0	学生の相互派遣
				0	学生の短期語学研修実施
		IRKUTSK STATE		0	国際会議、セミナー共同企画
		UNIVERSITY		0	出版物、学術情報の相互交換
			フインランド		学生交流協定 (覚書)
6	公立	タンペレ大学	タンペレ市		教育学術研究の教員の相互派遣
				0	学生の相互派遣
		UNIVERSITY OF			学生の短期語学研修実施
		TAMPERE			国際会議、セミナー共同企画
					出版物、学術情報の相互交換
		ゲルゼンキルへ	ドイツ		学術交流協定
7	公立	ン大学		0	教育学術研究の教員の相互派遣
		FACHHOCHSCHOLE		0	学生の相互派遣
		GELSENKIRCHEN	ゲルゼンキルヘン市		学生の短期郵学延修宝装
		UNIVERSITY		0	学生の短期語学研修実施
		OF APPLIED SCIENCES		_	国際会議、セミナー共同企画
		SCIENCES		0	出版物、学術情報の相互交換

NO	形態	大学名	国名		協定内容
			ドイツ		学術交流協定
8	公立	ロイトリンゲン	ロイトリンゲン市		教育学術研究の教員の相互派遣
Ü		大学		0	学生の相互派遣
					学生の短期語学研修実施
		REUTLINGEN			国際会議、セミナー共同企画
		UNIVERSITY		0	出版物、学術情報の相互交換
			ハンガリー		学術交流協定
9	国立	コドラーニ・ヤ	セーケーシュフェ hールハ゜ール市	0	教育学術研究の教員の相互派遣
		ーノシュ大学		0	学生の相互派遣
		KODOLAYI JANOS			学生の短期語学研修実施
		UNIVERSITY			国際会議、セミナー共同企画
		COLLEGE		0	出版物、学術情報の相互交換
		カンタベリーク			友好協定
10	公立	ライストチャー			教育学術研究の教員の相互派遣
10	444	チ大学	W A Y - Y III		学生の相互派遣
		CANTERBURY			学生の短期語学研修実施
		CHRIST CHURCH			
		UNIVERSITY			国際会議、セミナー共同企画
		COLLEGE			出版物、学術情報の相互交換
		ブルゴーニュ	フランス		友好協定
11	公立	高等商業大学	ディジョン市	0	教育学術研究の教員の相互派遣
		BURGUNDY		0	学生の相互派遣
		SCHOOL OF BUSIBESS			学生の短期語学研修実施 国際会議、セミナー共同企画
		DUSTDLSS		0	出版物、学術情報の相互交換
			中国		教育・学術研究協定
12	公立	大連民族学院	大連市	0	教育学術研究の教員の相互派遣
		DALIAN	, <u>. </u>	0	学生の相互派遣
		NATIONALITIES		0	学生の短期語学研修実施
		UNIVERSITY		0	国際会議、セミナー共同企画
				0	出版物、学術情報の相互交換
		大連旅順聖林出			留学生交換合意
13		国予備培訓学校	中国		
			中国		25年 45日
13	国立	大連工業大学	中国 大連市	0	学術交流協定 教育学術研究の教員の相互派遣
19	省立	八进工未八子	八壁川	0	教育学術研究の教員の相互派追 学生の相互派遣
	H	Dalian			学生の短期語学研修実施
		Polytechnic		0	国際会議、セミナー共同企画
		University		0	出版物、学術情報の相互交換
		よい1 ニュト・	オーストラリア		友好協定(覚書)
		セントラルクィ ーンズランド大	a ̄ヘトノリノ		
14	公立	学		0	教育学術研究の教員の相互派遣
			クィーンズランド州	0	学生の派遣
					学生の短期語学研修実施
		CENTRAL			国際会議、セミナー共同企画
		QUEENSLAND			四次 一次 一次 円 円 円 円 円 円 円 円 円
		UNIVERSITY			出版物、学術情報の相互交換

NO	形態	大学名	国名		協定内容
			中国		友好協定
15	公立	上海体育学院	上海市	0	教育学術研究の教員の相互派遣
		Shanghai		0	学生の相互派遣
		University of			学生の短期語学研修実施
		Sport		0	国際会議、セミナー共同企画
				0	出版物、学術情報の相互交換
		ナイアガラ	カナダ		友好協定(覚書)
16	公立	カレッジ	オンタリオ州	0	教育学術研究の教員の相互派遣
				\circ	学生の派遣
		Niegote			学生の短期語学研修実施
		Niagara College			国際会議、セミナー共同企画
		COTTUGU			出版物、学術情報の相互交換
		ミンダナオ	フィリピン		学術交流協定
17	私立	国際大学	ダバオ市	0	教育学術研究の教員の相互派遣
				\circ	学生の派遣
		MINDANAO			学生の短期語学研修実施
		KOKUSAI			
		DAIGAKU		0	国際会議、セミナー共同企画
		(Mindanao			
		International College)			出版物、学術情報の相互交換
		correge)			

(1) 事業の概要

平成25年度学校法人稲置学園事業計画に基づき、前年度に掲げた項目を含めた事業の概要は次のとおりである。

1 教育活動の充実

金沢星稜大学人間科学部では、地域社会の発展や学校教育活動に資する人材を育成するため、特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)を得させるための課程認定の承認を受けて、カリキュラム編成を行った。併せて関連図書の購入等の環境整備を図った。また、近年志願者が増加しているこども学科への受入れを拡充するため、収容定員を40名から60名とする学則変更を行った。

その他、グローバル人材育成並び大学の国際交流の推進を図るため、「金沢星稜大学 国際交流センター」が平成26年度開設することに伴い、国際交流センターの規程を 整備した。

星稜高校では、新学習指導要領実施に伴い、本学園の教育目標・方針と合せた教育 課程の改正を行った。また、速やかな授業運営と生徒の理解・習熟度の向上を図るため、教員用「教科書」、「指導書」、「資料・教材」の購入により環境の整備を図った。

2 経営基盤の確立

学園施設を計画的に維持管理し、長期的なコストを縮減するため、「建築データ整理・図面整理」「劣化調査・問題点整理」「改良項目整理」「改良工事費積算」を行う総合的な「施設維持管理計画」を策定した。

大学図書館業務について、高度専門的で質の高いサービスを安定的に提供し、学生 の学習環境の向上を図るため、外部委託による専門スタッフを配置した。

80周年記念事業寄附金から7千万円と奨学基金特定資産7億円を合わせた7億7 千万の運用果実を原資として、就学支援及びスポーツ・文化等課外活動支援を目的に「星稜基金」を創設した。

平成25年度は、全国大会出場した19団体及び56名に奨励費を給付した。また、 附属星稜幼稚園、附属星稜泉野幼稚園においては、「星稜文庫」を設置し、園児の情操 教育に資する書籍やDVDを購入した。

3 地域社会への貢献

金沢星稜大学では、地域に開かれた大学として、教育と研究の成果を地域社会に還元するために、公開講座等通して地域の皆様に対し広く学びの場を提供するため、「金沢星稜大学市民土曜講座」を12回開催した。講座内容については以下のとおりである。

共通テーマ「これからの日本の経済を考える」

- 第1回 日本の財政の持続可能性について考える
- 第2回 日本銀行の金融政策について考える
- 第3回 社会保障・税一体改革で日本の社会保障はどうなるのか?

共通テーマ「身近な I Tの動向」

- 第4回 石川県内のソーシャルメディアの利用の広がり
- 第5回 金沢におけるICTとシビックプライドの必要性
- 第6回 インターネット社会を上手に生きる

共通テーマ「地域の子育てを考える」

- 第7回 わらべうたを見直してみませんか
- 第8回 親子関係を豊かにするふれあいの遊び
- 第9回 子どものこころを育てる~家庭の役割・地域の役割~

共通テーマ「地域貢献に寄与するスポーツ文化発展の方策-スポーツと教育-」

- 第10回 最高の成績を発揮するために心を鍛える
- 第11回 合理的配慮を必要とする子どもとスポーツ教育
- 第12回 地域資源を活かした野外スポーツの推進

北國新聞と石川県内の大学等と共同で主催する「日本海イノベーション会議」の金沢星稜大学プログラムとして、「グローバリゼーションと大学教育」と題した講演会を開催した。宮﨑正史副学長(現学長)、坂野光俊学長(現理事)、前田純一氏(北國銀行専務)がそれぞれ講演し、世界で通用するグローバル人材の育成について語った。

4 研究活動の推進

組織的研究活動の推進及び学部資金獲得や成果発表を充実し、研究の質の向上及び 規模の拡大を図るため、新たにプロジェクト研究所の助成を行った。プロジェクト研 究所とは、地域社会における役割を果たすために、学部・学科及び大学の枠を超えて 研究グループを自己組織化して行う研究であり、平成25年度の研究は次のとおりで ある。

ICT 教育活用研究所 研究所長 村井 万寿夫 人間科学部教授(代表)

5 運営体制の改善と学園の一体化

人事・給与、財務、研究業績システムの老朽化等を契機として、現在、個別に管理 運営されている当該システムと大学学務システムを連携させ、学園で統一して管理運 営できるシステムを導入し、作業効率の向上及び経費削減を図るためのシステムを導 入した。

平成24年に締結された本学園と株式会社北國銀行との包括連携の協定に伴い、本 学園広報誌「星稜サ・エ・ラ」にて北國銀行で活躍する卒業生の紹介や、銀行主催に よる大学職員向け管理者研修に参加した。

6 その他

高等学校では、サッカー部が第92回全国高校サッカー選手権大会の決勝戦に進出した。残念ながら延長戦の末、惜敗となったが、1・2年生全員と3年生希望者による全校応援団が国立競技場で熱い声援を送った。また、野球部が第95回全国高等学校野球選手権記念大会に出場し、生徒・教員約750人の応援団が阪神甲子園球場で熱い声援を送った。

3 財務の状況

(1)決算の概要

① 貸借対照表の状況

総資産額は、21,474百万円で前年度に比べて283百万円の増加.負債総額は、1,560百万円で前年度に比べ て107百万円の減少となりました。

資産総額の増加は、大学新校舎建設に伴う特定資産等の増や現金預金の増によるものです。

負債総額の減少は、借入金や退職給与引当金の減少によるものです。

なお、負債額の総資産に占める割合は、7.3%となり、前年度に比べ0.6%減少しました。

当年度の消費収入は、4,322百万円となり前年度に比べ440百万円の増加となりました。その主な内容は、

学生生徒等納付金収入の増加や大学校舎改装等に伴う基本金組入額の減少によるものです。 当年度の消費支出は、4,353百万円となり、前年度に比べ79百万円の減少となりました。その主な内容は、 建物等の除却に係る資産処分差額の減少によるものです。

消費収支の差額は、31百万円の支出超過となりましたが、帰属収支においては、391百万円の収入超過とな りました。要因は、学生・生徒等納付金の増加や人件費の減少、資産処分差額の減少によるものです。 これにより帰属収支差額は改善されプラスとなりました。

(2)経年比較

① 貸借対照表

(単位:千円)

只 山 八 灬 ҳ					(
	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末
固定資産	16,943,538	16,666,502	17,405,880	17,468,387	17,310,758
流動資産	3,982,790	4,555,624	3,664,541	3,722,434	4,163,649
資産の部合計	20,926,328	21,222,126	21,070,421	21,190,822	21,474,407
固定負債	576,310	728,904	1,139,700	985,300	934,400
流動負債	544,750	905,172	597,717	683,233	626,389
負債の部合計	1,121,060	1,634,076	1,737,417	1,668,533	1,560,789
基本金の部合計	19,770,518	20,062,354	20,220,257	20,958,863	21,378,827
消費収支差額の部合計	34,750	△ 474,304	△ 887,253	\triangle 1,436,574	△ 1,465,208
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	20,926,328	21,222,126	21,070,421	21,190,822	21,474,407

② 収支計算書

ア) 資金収支計算書

(単位:千円)

					(去瓜・111)
収入の部	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学生生徒等納付金収入	2,829,749	3,004,052	3,135,957	3,210,339	3,282,922
手数料収入	71,313	68,389	67,848	61,680	61,690
寄付金収入	18,187	22,870	37,373	52,094	18,715
補助金収入	987,171	983,433	995,254	976,565	1,005,004
資産運用収入	87,274	96,452	92,210	76,709	89,315
資産売却収入	0	0	4,949	101,491	200,000
事業収入	44,408	56,879	60,520	51,750	96,436
雑収入	149,469	274,020	117,991	183,062	177,850
借入金等収入	2,810	301,960	0	0	0
前受金収入	241,266	269,863	255,899	258,162	259,377
その他の収入	263,112	814,393	1,871,898	2,817,636	3,121,716
資金収入調整勘定	△ 280,270	\triangle 512,700	\triangle 367,953	△ 433,389	$\triangle 446,315$
前年度繰越支払資金	3,599,212	3,935,582	4,276,875	3,560,602	3,542,853
収入の部合計	8,013,701	9,315,193	10,548,821	10,916,699	11,409,564

支出の部	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
人件費支出	2,628,045	2,877,736	2,608,704	2,717,141	2,646,421
教育研究経費支出	798,450	811,474	796,045	886,837	928,149
管理経費支出	311,737	316,133	332,264	381,635	379,982
借入金等利息支出	28	370	1,381	878	378
借入金等返済支出	3,020	2,100	101,810	101,040	100,000
施設関係支出	29,027	348,873	1,352,522	612,147	59,774
設備関係支出	48,658	100,339	57,178	329,287	63,609
資産運用支出	300,015	809,581	1,443,004	2,427,197	3,292,547
その他の支出	225,055	273,145	504,781	213,943	293,475
資金支出調整勘定	△ 265,916	$\triangle 501,433$	\triangle 209,470	\triangle 296,260	△ 330,857
次年度繰越支払資金	3,935,582	4,276,875	3,560,602	3,542,853	3,976,086
支出の部合計	8,013,701	9,315,193	10,548,821	10,916,699	11,409,564

イ)消費収支計算書

(単位:千円)

収入の部	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学生生徒等納付金	2,829,749	3,004,052	3,135,957	3,210,339	3,282,922
手数料	71,313	68,389	67,848	61,680	61,690
寄付金	22,905	32,643	39,300	57,752	29,093
補助金	987,171	983,433	995,254	976,565	1,005,004
資産運用収入	86,174	96,319	93,088	79,485	92,013
資産売却差額	0	0	2,950	646	0
事業収入	44,408	56,879	60,520	51,750	96,436
雑収入	149,469	274,293	118,154	183,220	177,850
帰属収入合計	4,191,189	4,516,008	4,513,071	4,621,437	4,745,008
基本金組入額合計	△ 240,423	△ 307,282	△ 214,347	△ 738,606	\triangle 422,456
消費収入の部合計	3,950,766	4,208,726	4,298,724	3,882,831	4,322,552

支出の部	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
人件費	2,633,745	2,830,660	3,120,540	2,662,741	2,595,521
教育研究経費	1,197,572	1,198,342	1,147,380	1,236,396	1,289,235
管理経費	343,519	345,645	359,545	428,724	444,954
借入金等利息	28	370	1,381	878	378
資産処分差額	12,131	356,753	137,867	97,269	21,984
徴収不能額	0	0	0	40	0
徴収不能引当金繰入額	1,774	1,456	1,404	6,104	1,606
消費支出の部合計	4,188,769	4,733,226	4,768,117	4,432,152	4,353,679
当年度消費収支超過額	△ 238,003	△ 524,500	△ 469,393	△ 549,321	△ 31,127
前年度繰越消費収支超過額	226,725	34,750	△ 474,303	△ 887,253	$\triangle 1,436,574$
基本金取崩額	46,028	15,447	56,444	0	2,493
翌年度繰越消費収支超過額	34,750	△ 474,303	△ 887,252	\triangle 1,436,574	△ 1,465,208

(3) 主な財務比率比較

(単位:%)

比率名	算式	平成21 年度	平成22 年度	平成23 年度	平成24 年度	平成25 年度
帰属収支差額比率	帰属収入-消費支出 帰属収入	0.1	△ 4.8	△ 5.7	4.1	8.2
消費収支比率	消費支出 消費収入	106.0	112.5	110.9	114.1	100.7
学生生徒等納付金比率	_ 学生生徒納付金_ 帰属収入	67.5	66.5	69.5	69.5	69.2
人件費比率	人件費 帰属収入	62.8	62.7	69.1	57.6	54.7
教育研究経費比率	<u>教育研究経費</u> 帰属収入	28.6	26.5	25.4	26.8	27.2
管理経費比率	管理経費 帰属収入	8.2	7.7	8.0	9.3	9.4
流動比率	流動資産 流動負債	731.1	503.3	613.1	544.8	664.7
負債比率	総負債 自己資金 ※1	5.7	8.3	9.0	8.5	7.8
自己資金構成比率	<u>自己資金</u> 総資金 ※2	94.6	92.3	91.8	92.1	92.7
基本金比率	基本金 基本金要組入額	100.0	100.0	99.0	99.5	99.9

^{※1} 自己資金=基本金+消費収支差額 ※2 総資金=負債+基本金+消費収支差額

(4) その他① 有価証券の状況

(単位:円)

	ン・ ル くわし				(+ <u>1</u> .	1 1/
区分	銘柄	数量	B/S価額	時価	計上科目	摘要
債券	国債	1 🗆	99,625,417	106,368,000	減価償却引当特定資産	
債券	国債	4 □	569,804,850	594,021,000	星稜基金特定資産	
債券	社債	2 □	199,716,115	199,794,000	星稜基金特定資産	
債券	社債	1 口	100,000,000	100,780,000	有価証券	
債券	外債	5 □	500,000,000	490,442,000	退職給与引当特定資産	
債券	外債	2 □	300,000,000		減価償却引当特定資産	
債券	外債	1 □	100,000,000	99,130,000	将来構想積立金	
債券	地方債	1 □	20,000,000	20,008,000	減価償却引当特定資産	
債券	金銭信託	1 □	100,000,000	_	退職給与引当特定資産	
債券	金銭信託	1 □	100,000,000	_	減価償却引当特定資産	
株式	㈱星稜プラザ	160株	8,000,000	_	有価証券	
株式	(株)ケィ・シィ・エス	5株	250,000	_	有価証券	
	合計		2,097,396,382	1,903,433,000		

② 借入金の状況 該当なし

③ 学校債の状況 該当なし

④ 寄付金の状況 (単位:円)

りしずっかが			(去) (11)
寄付金の種類	寄付者	金額	摘要
一般寄付金	保護者会他	8,635,454	教育・研究活動の資金として
受配者指定寄付金	企業	100,000	寄付講座資金として
大学海外語学研修支援	大学同窓会	300,000	旅費等の資金として
大学サッカー部全国大会出場寄付金	企業団体・個人	1,830,000	旅費等の資金として
高校野球部全国大会出場寄付金	企業団体・個人	5,690,000	旅費等の資金として
高校サッカー部全国大会出場寄付金	企業団体・個人	2,050,000	旅費等の資金として
高校女子駅伝全国大会出場寄付金	個人	20,000	旅費等の資金として
中学野球部全国大会出場寄付金	個人	90,000	旅費等の資金として
現物寄付金	個人	5,250,000	油絵
現物寄付金	個人(大学・短大部教員)	3,638,846	科学研究費図書・備品
現物寄付金	星稜高等学校卒業記念	1,121,820	優勝旗展示棚・カラー拡大機
現物寄付金	星稜高等学校教職員	366,632	冷蔵庫4台
, F	>計	29,092,752	
高校サッカ-部全国大会出場寄付金 高校女子駅伝全国大会出場寄付金 中学野球部全国大会出場寄付金 現物寄付金 現物寄付金 現物寄付金 現物寄付金	企業団体・個人 個人 個人 個人 個人(大学・短大部教員) 星稜高等学校卒業記念 星稜高等学校教職員	2,050,000 20,000 90,000 5,250,000 3,638,846 1,121,820 366,632	旅費等の資金として 旅費等の資金として 旅費等の資金として 油絵 科学研究費図書・備品 優勝旗展示棚・カラー拡大 冷蔵庫4台

⑤ 補助金の状況 タ 型 単位の 補助 全の 本付 世 沿 け 下 記 の と おり で す。

	設置校の補助金の交付状況は下記のとおりです。			(単位:円)		
設置校	補助金名	交付額	摘要			
	私立大学等経常費補助金	玉	193,558,000			
	私立大学間連携共同教育推進費補助金		515,560			
	私立大学等教育研究活性化設備費補助金		14,455,000			
金沢星稜大学	能登「域学連携」まちづくり合宿助成金	能都町	95,000			
	加賀市コンベンション誘致推進事業補助金	加賀市	653,000			
	奥能登珠洲の交流支援助成金	珠洲市	28,500			
	七尾市合宿等誘致事業補助金	七尾市	213,000			
	結核予防対策事業補助金	金沢市	205,000			
	合計	玉	209,723,060			
人 河目	私立大学等経常費補助金		58,345,000			
金沢星稜大学 女子短期大学	私立大学間連携共同教育推進費補助金	国	27,100			
部	結核予防対策事業補助金	金沢市	43,400			
нь	合計		58,415,500			
	私立高等学校経常費補助金	石川県	560,283,000			
	私立高等学校授業料減免補助金	石川県	18,598,850			
	私立高等学校入学金軽減補助金	石川県	1,060,000			
星稜高等学校	私立高等学校特色教育推進費補助金	石川県	600,000			
	私立高等学校運営費補助金金沢		2,277,000			
	結核予防対策事業補助金	金沢市	172,000			
	合計	582,990,850				
	私立小中学校経常費補助金	石川県	51,899,000			
星稜中学校	私立中学校運営費補助金	金沢市	3,400,000			
	合計		55,299,000			
	私立幼稚園経常費補助金	石川県	36,687,000			
	私立幼稚園預かり保育推進費補助金	石川県	408,000			
	私立幼稚園運営費補助金	金沢市	3,442,000			
	私立幼稚園預かり保育推進費補助金	金沢市	204,000			
	金沢子育て夢ステーション事業費補助金	金沢市	150,000			
園	金沢市私立幼稚園就園奨励費補助金	金沢市	15,411,200			
	私立幼稚園における健康診断に係る経費補助金	金沢市	23,000			
	津幡町私立幼稚園就園奨励費補助金	津幡町	299,800			
	合計		56,625,000			
附属星稜泉野	私立幼稚園経常費補助金	石川県	28,654,000			
	私立幼稚園預かり保育推進費補助金	石川県	443,000			
	私立幼稚園教育環境整備費補助金	石川県	1,515,000			
	私立幼稚園運営費補助金	金沢市	3,233,000			
	私立幼稚園預かり保育推進費補助金	金沢市	221,000			
幼稚園	私立幼稚園における健康診断に係る経費補助金	金沢市	17,000			
	金沢市私立幼稚園就園奨励費補助金	金沢市	7,620,100			
	野々市市私立幼稚園就園奨励費補助金	野々市市	247,200			
	合計		41,950,300			
	総計	1,005,003,710	<u> </u>			

⑥ 収益事業の状況 該当なし

⑦ 関連当事者等との取引の状況 ア)関連当事者 該当なし

イ) 出資会社

会社名	事業内容	資本金等	出資割合	取引の内容	保証債務等		
	書籍・文具販 売・各種食品 小売業	10百万円	80%	・業務委託年間約58 百万円 ・施設設備利用料 120万円 ・出向負担金3,600 千円	職員1名が兼務して いる。		